'シャインマスカット'の簡易迅速な識別法の開発

- 国産優良作物品種の育成者権を守る -



成果の特徴

- 'シャインマスカット'は日本で開発された優良ブドウ品種ですが、海外に無断で持ち だされ、生産・販売されており、日本への逆輸入が懸念されています。
- 簡易迅速に'シャインマスカット'を識別可能な手法を開発しました。前処理を簡易化 し、LAMP法を利用することによって、全工程が1.5時間以内で終了します。
- LAMP増幅産物の検出にDNAクロマト技術を導入することによって、高額な機器を 使用せず、目視で判定可能な検出系も開発しました。

シャインマスカット





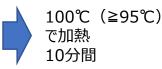












果皮を10 mg採取

バッファー添加

ペッスルによる粉砕

粉砕後



氷につけて急冷 5分以上



遠心 ≥13,000×g 5分間、室温



上清を回収



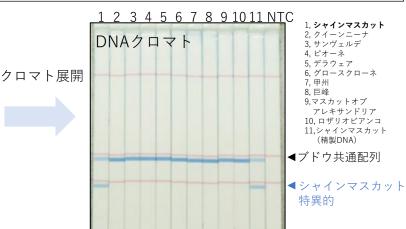
LAMP反応の 鋳型として使用

LAMP反応 65℃ 40分









シャインマスカットLAMP識別プライマーセット

想定される用途

本成果は、税関等における水際検査での利用を想定しています。

参考

- Takabatake R, Monden Y, et al., (2025) Breeding Science 75: 200–209.
- ・Loop-mediated isothermal Amplification (LAMP)法および DNA クロマト(C-PAS) 法を用 いたブドウ品種「シャインマスカット」の品種特異的 DNA 品種識別技術 https://www.naro.go.jp/collab/breed/hinshu_shikibetsu/index.html
- ・特許出願:2024-105539

※本研究は農林水産省・みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業(品種識別技術の開 発)により実施されました。

担当研究者:高畠 令王奈 属:食品研究部門 所

食品流通・安全研究領域

